

【学校教育目標】 「自分とみんなのために 心を尽くし、学びを深め、ともに動く 大小っ子の育成」
【目指す児童像】 「気づく子 学ぶ子 元気な子」

玖城のほとり



大村市立大村小学校
令和8年度学校だより
第10号
令和8年9月3日発行
文責：校長 堺 邦寿

★ 平和集会 ～ 作文発表 ～ ★

8月9日（日）県民祈りの日に行った平和集会の時に、平和学習について作文発表をしました5名のみなさんの作文を紹介します。どうぞご覧ください。

しんちゃんのにりん車を見て

二年二組 代表

しんちゃんのにりん車を見て、学んだことをはっぴょうします。

このものがたりは、ほしかったのにりん車が、手に入ってあそんでいたとき、げんしぱくだんがおちてしんちゃんがなくなってしまうしました。今の生かすところへほしいものをがまんするしんちゃんはかわいそうに思いました。

今せんそうがおきたらどんなにかなしいか、どんなにやさしいかがよくわかりました。せんそうがないいい世かいたるために、これから、ともだちにやさしくしたり、かなしいことをしたりしないようにしていきます。

しんちゃんのにりん車を見て

二年三組 代表

平和学習で考えたことを発表します。わたしは平和学習で、しんちゃんのにりん車というビデオを見ました。

しんちゃんのにりん車では、しゅじんこうのしんちゃんがのにりん車であそんでいるときに、げんしぱくだんがおちて、なくなってしまうしました。わたしは、せんそうで、げんしぱくだんがおちたところがなくなしくて、こわいなと思いました。もう二度とせんそうがおきてほしくないの、ばんきょうをしてともだちやかをいじにしたいです。

いわたくんちのおばあちゃん

四年二組 代表

わたしは、「いわたくんちのおばあちゃん」を見て、たつたすこの時間で何万人の人がなくなつて、人けんだけでなくどつぶつまでなくなつてととてもこわかったし、かなしかつたです。まだ学生の人たちもへいたいさんとかの人のためにはたらかなきゃいけない、友だちとなかよくあそびたいと思うのに、それも戦争のせいではできなくてかわいそうだし、ぜったいに戦争はしないとあらためて思いました。とくに、いわたくんちのおばあちゃんがばくだんがおとされたあと、家そくとやくそくをしていた場所に行つて家そくをまつていたところが心にのこりました。理由は、家そくを思いたからです。わたしは、一つのけんかや一つのもめあいもすべになかなかりをして、戦争がおきないために自分ができることをつづけていきたいです。

いわたくんちのおばあちゃん

四年二組 代表

わたしは、「いわたくんちのおばあちゃん」をみて戦争は大切な人を失なつてしまふことがどれだけ悲しくてつらいか知ることが出来ました。とくに今までの生活が一しゅんでこわれてしまふことも知りました。一番悲しかったことは、カンづめ工場で働いている時に、ばくだんが落ちてきて、家そくの元に、一生けんめいフラつきながら、やつの思ひでついたら、大切にしていた家そくが全員亡くなつてしまつてつらかったです。ついに一番心のこつてゐることはお母さんのふくんと子どもふくがくつについていたことです。私はさいごまでお母さんの役目をはたしていたと思いました。私は戦争は二度としてはいけないと思ひました。

いわたくんちのおばあちゃん

四年三組 代表

ちづ子さんはめっちゃくちゃ苦しかったんだらうなと思ひました。なぜなら、あんなかわいさな子ちゃん姉妹、お父さん、お母さん、まだ長生きできるのに戦争でなにもかもこわされて、かなしかつたからです。また、次の理由は、家族と「はぐれたらしゅごうだね。」といわれたのに、だれもこない、まっつもまっつもこないといふことは、もつけないといふことです。私だったら、かなしくてかなしくて、泣くかもしれません。そして、ちづ子さんが、広島島の町にもどつて親を見つけていこうとして、もどつたらなくなつていて、とてもかなしかつたんでしょ。私は、かなしくて、もつ行けません。戦争がないことをねがいます。